

# 本郷中央地区 社協だより 第75号

発行日 令和6年10月26日

発行責任者 本郷中央地区



社会福祉協議会

会長 竹谷 康生

## ～ 能登半島地震から学ぶ～ 今こそ見直そう

### 「防災フォーラム」を開催しました。

本郷中央地区支えあい連絡会(以下、地区支連という)では、6月22日に、栄区民文化センターリリスにおいて「防災フォーラム」を開催しました。会場には一般参加者115名の方が、また本中連・定例会の会員が84名、他地区連合会から13名、本郷台地域ケアプラザ、小菅ヶ谷地域ケアプラザ、桂台地域ケアプラザ、栄区役所、栄区社協、栄消防署等から計31名の方が参加してされました。

地区支連の地域防災部会では、過去数年間にわたり地域防災訓練や災害時要援護者の実態をアンケートにより調査して、情報は各町内会自治会に報告してきました。1月1日に起きた「能登半島地震」を発端として、「防災フォーラム」を立ち上げて、地域全体として「今こそ見直そう」の気運を盛り上げました。講座全体としては、「能登半島地震後の現地活動報告」として締めくくり、次の講師から概ね次のようなテーマでスライドにより、約80分に亘る報告をして頂きました。

- (1) 被災地での救助・救援活動について

家田昌利 栄消防署長【写真1】

- (2) 被災住民への行政面での応援活動について

武内秀幸 栄区役所総務課係長【写真2】

- (3) 被災現地での体験と災害ボランティアの活動について

室井慶之 栄区社会福祉協議会事務局長【写真3】

フォーラム終了後、3名の講師との間で、質疑応答と意見交換等を行いました。併せて、参加者にアンケートの回答をお願いした処、72名の方が記載してくださいました。有意義なコメントが多くあり、地域防災部会でアンケートのグラフ化や項目別の類型化等を行い、本中連・定例会の会員全体に対して情報の提供を行いました。「このフォーラムは本中連だけでは勿体ない、栄区全体に反映するのが望ましい」との空気感が有りました。



写真1



写真2



写真3





## 能登町災害ボランティアセンター派遣報告

社会福祉法人 横浜市栄区社会福祉協議会  
主事 平野慶太郎



2024年1月1日16:10、私は新潟の実家で家族と正月を過ごしていました。数分後には津波警報が発令され、一時的ではありましたが初めて避難という経験をしました。自身を含めて多くの方々が、不安そうに身を寄せ合っていた光景は、今でも鮮明に記憶に残っています。

さて、能登町災害ボランティアセンターへの派遣報告に入る前に、「災害ボランティアセンター」の歴史から触れたいと思います。1995年の阪神淡路大震災では、延べ100万人を超えるボランティアが被災地に駆けつけたと言われています。この際、ボランティアの振り分けがうまくいかず、効率的な被災地支援活動という点において課題が残りました。これらを踏まえ、災害ボランティアの活動を円滑に進めるために被災地に設置される拠点として「災害ボランティアセンター」の整備が進められ、その設置運営主体が社会福祉協議会となっているのです。



今回、能登町災害ボランティアセンターへ派遣されたのは6月20日～26日で、全国から集まるボランティアと、ボランティアを必要とする依頼者のコーディネート業務を行いました。センターへ来る依頼については、家財の解体、瓦や畳の搬出、地盤沈下により浸水した住宅の泥かき等が散見されました。



このような依頼に対して、うまくコーディネートを行い、ふだんの暮らしに一步でも近づけるようにボランティアと一丸となってセンター運営を行いました。一方で、ボランティアを守るのも災害ボランティアセンターの役割です。6月とはいえ初夏の暑さを感じる頃でしたので、水分補給や危険な道路状況での運転の注意喚起も必須でした。

今回の派遣を通して、【家財の転倒防止や食料のローリングストック等の重要性】、【人や地域とのつながりは、防災や発災後の見守りに直結】すると痛感いたしました。これからも誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなでつくっていきましょう。



## 令和6年度助成団体交流会 開催のご報告

本郷中央地区社会福祉協議会(以下、地区社協という)では、福祉保健活動に携わっている7つの団体に対して、活動助成費を支給・援助しています。地区社協の事業部会がこれらの団体に声を掛けて7月2日(火)に、団体間の情報交換を目的に桂台地域ケアプラザにて助成団体との交流会を開催しました。なお事業部会員である勝呂所長にも出席して頂き、スタッフ入れて総勢19名で活発に様々な意見交換ができました。



桂台地域ケアプラザ  
勝呂所長

コロナ禍でしばらく活動を休止していたところも、集合会場では飲食禁止にしたり、大声を出さないイベントに変更したりと各団体は苦労しながらも活動を続けている様子でした。主なご意見を次に記します。

団体名	代表者(敬称略)
三水会	山井 俊昭
子育て喫茶「げんき」	武田 敦子
げんき広場	白水 嘉子
子育てサロン ばんばんぼんだ	肥田 悦子
桂台げんき食堂	白水 嘉子
ユトリーロ	富江 里栄
配食サービス グループ「ゆう」	木原 瑞子

出席団体の  
皆さん

- ◆活動助成費については、少額とはいえ安定的収入でスタッフ一同喜んでいきます。
- ◆食材費高騰のこの時期、頂いている助成金は食材にも使えて、非常に助かっています。
- ◆野菜を提供して頂ける話があれば、ぜひ情報提供をお願いしたい。
- ◆いま助成を受けていない団体も、どしどし応募すればいいと思う。

地区社協では現在上記7団体への助成に留まっていますが、経済的支援を望む団体があれば、最大限の応援をしていきたいと考えています。現在助成対象活動団体に名乗りをあげていない団体も、ぜひ検討してみてください。ただし現在は、助成対象活動団体の募集はしておりません。募集時期がきましたら本誌にてお知らせしますのでご応募お待ちしております。



さいごに今回の交流会ではある団体から、「我々ボランティア団体スタッフは高齢化が進んでいます。ぜひ若い方にもどしどし手伝って欲しい。」というご意見がありました。我々地区社協では経済的支援はできても、人的支援は困難な面があります。ぜひ若い方のお申し出をお待ちしています。なお各団体の活動内容を記したパンフレットのご用意もあります。本誌最終頁の事務局あてにどしどしお申し出ください。お待ちしております。

### 本郷中央連合町内会自治会が2年連続で無火災を達成

本郷中央連合町内会自治会(以下、本中連という)は、2年間にわたる連続無火災を達成しているとして、5月20日の区連会において、横浜市消防局長(平中 隆局長)からの感謝状を栄消防署長(家田 昌利署長)の代読により受賞しました。令和6年3月までの2年間の無火災を達成した本中連では、地域防災の意義を住民に伝承するなどして、地域ぐるみの活動を継続しています。本中連・細田会長は「前年度に2年連続の念願が叶い、3年連続に向けて取組んでいる。」との抱負を述べました。

しかし3年連続無火災に向け取組んでいた矢先、6月17日に公田町において火災が発生し、3年連続の願望は消えてしまいました。また改めて、1年連続、2年連続、3年連続に向けて地域全体で取組んでいきましょう。





## 助成対象活動団体の活動内容～ユトリー口～

2021年度から助成対象活動団体に仲間入りしたユトリー口を、紹介します。

団体名称：桂台こどもの居場所 ユトリー口 代表者名：富江里栄

### ユトリー口 出入り自由なこどもの居場所



◆だかしや(有料)

第1・3・4(土)12:30～17:30

第5土が無い月は、第4土



◆茶道教室(無料)

第1(土)15:00～16:00



◆こども食堂(20食限定)

第1・3・4(土)12:00～13:30

第5土が無い月は、第4土



だかしや



茶道教室



080-7019-5633 (花かご)

090-9322-2064 (富江)

花かご 栄区桂台東1-1



ゆるゆる ぼやーっと 本を読んだり  
勉強したり シャベったり  
ボードゲームをしたり  
おえかき おりがみ 工作 手芸  
クッキング お話会などなどできます

小中学生 100円、高校生 200円、元こども(おとな) 300円

♡色んな事情で居場所を求めている子どもやその家族、またこんな活動にちょっと協力したい大人が自由に集え、ありのままの自分でいられる「空間・時間・仲間」が居る場所作りを目指しています。

♡ユトリー口の活動日は、将来的には毎週土曜日に実施して学習支援も始められるようになるといいなあと思っています。

取材に伺った9月7日(土)は第1土曜なので、茶道教室の日でした。この日は和室ではなく、立礼(りゅうれい：椅子に座ってお茶を点てる形式)でした。地元にお住いの成澤さんが講師としてお見えになり、裏千家のお点前(てまえ)を披露し、子ども達はお茶菓子を頬張り、お茶を堪能していました。

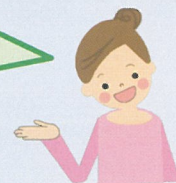


しかも子ども達は先生のお点前を見ているだけでなく、自分達でも点てていました。なんでも茶道教室は何度も通っている子どもが多く、大人の私からみても子ども達の堂々たるお点前に脱帽でした。



賛助会員のお申込みは通年受付しています。なんなりとご連絡・ご相談をお待ちしております。事務局 折田 藍子

☎ 045-512-1502 ✉ hongo.chikushakyo@gmail.com



### 編集後記

今回は2頁にわたり防災関連の記事を掲載しました。ここ本郷中央地区でも公田町団地下の法面崩壊や旧二和印刷ビル近くの山崩れなど身近に災害が発生しています。いたずらに恐怖を感じる必要はありませんが、各家庭で備えるものを準備して、発災時は心静かに対応していきましょう。

編集委員：菊池康夫、桑川賢二、長沼勲、佐藤美知子、山井俊昭、山田守